



福岡市議会議員（東区）
 総務財政委員会 副委員長
 少子・高齢化対策特別委員会 副委員長
 九州大学移転・跡地対策協議会 副会長
 一般社団法人福岡大学 同窓会有信会 経済学部 代議員

子育て真っ最中
 二児のママ議員

Yoko Tsuichihara's news

ついちはら 陽子 通信

どこよりも
 子どもたちが安心して暮らせる福岡市へ

2023年夏号 Vol.14

令和5年度 第4回福岡市市議会定例会〔6月16日（金）～27日（火）〕報告

より福岡市を子育てしやすい都市にするため、地域で子どもを安心して育てられる環境づくりをポイントに、「身近な地域における、子どもの一時的な預け先」について質問と意見・要望をいたしました。



Q (一時預かり事業などの子どもの一時的な預け先で) 希望があったにも関わらず、市が断った件数をお尋ねしました。

●福岡市の子どもの一時的な預け先について現在の状況

事業名	一時預かり事業、一時保育事業	ファミリー・サポート・センター事業	子育て短期支援事業（子どもショートステイ）
令和2年度	19,239人	9,166人	850人
令和3年度	21,484人	10,860人	1,197人
令和4年度	26,363人	12,486人	1,793人

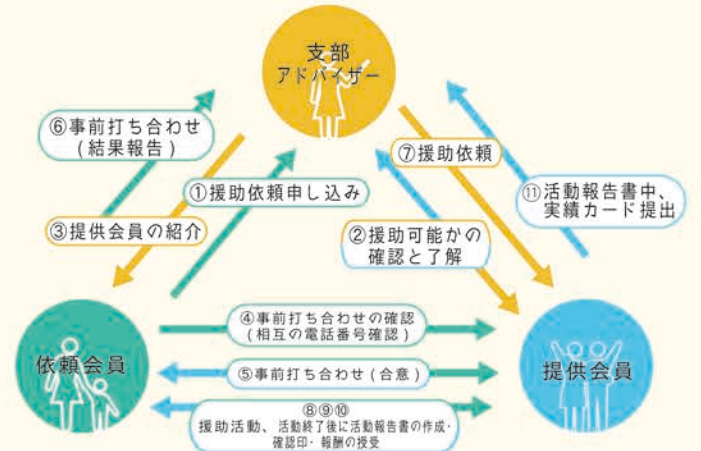
※令和4年度は速報値

【意見】
 提示いただいた利用者数からも、利用者数は年々増加傾向にあることがわかります。市内には子育て家庭が急激に増加している地域などもあり、事業の受入れ体制の充実をはじめ、改善を図るためには、まず校区ごとの現状を把握することも必要だと思いました。

Q 一時預かり事業などに寄せられる市民からの要望について、どのような内容が多いのか、その内容を市はどのように把握しようとしているのか、その2点についてお尋ねしました。

ちょっと休憩... 働くパパママを応援 "ファミリーサポートセンター" のこと知ってる?

- ▶こんなサービス
 子育てを応援してほしい「依頼会員」と子育てを応援したい「提供会員」の助け合いによる子育て支援制度
- ▶こんな方のためのサービス(どんな理由でも利用OK)
- ・仕事の都合で保育所への送りや迎えに行けない...
 - ・技術や資格を得るため講習会に参加したいけど子どもが...
 - ・お兄ちゃん(お姉ちゃん)の授業参観に行きたいけれど下の子がいて...
 - ・最近、育児に疲れ気味... ちょっと気分転換に買い物に行きたい...



【こども未来局】

- 一時預かり事業における利用者集中による定員超過での断り件数 令和3年度 196件
- 一時保育事業、ファミリー・サポート・センター事業、子育て短期支援事業(子どもショートステイ)については、統計なし

Q 国のファミリー・サポート・センター事業実施要綱では、「子どもを預かる場所は、会員の自宅、児童館や地域子育て支援拠点等、子どもの安全が確保できる場所とし、会員間の合意により決定すること」となっているのに対し、福岡市では、提供会員は自宅で預かることとなっています。預かり先が自宅限定というのはなぜなのか？福岡市の考え方についてお尋ねしました。

【こども未来局】

- 提供会員の見知らぬ場所や不慣れた場所での預かりにおけるリスク回避のため
- 状況に応じて会員間の合意のもと、依頼会員の自宅で預かることはある。

【意見・要望】
 ファミリー・サポート・センターの提供会員で、自宅での預かりはされたことがなく、**子どもの送迎だけの依頼を受けたことがある方**にお話を伺う機会がありました。その際に、自宅には小さな子どもにとって危険物になりえる物や段差があるなど不安であるため、ご自身の自宅では預かれないけれども、**公民館などの公共施設であれば預かることができるの**といったご提案をいただきました。

子育て期間を終えて久しいご家庭にとっては、お預かりする子どもさんを安全に見守るために、自宅のあらゆる危険箇所を整えるにはかなりの時間と費用がかかると思います。提供会員になるためのハードルがそこにもあると感じました。ファミリー・サポート・センター事業は地域のネットワークを活用した市民同士の助け合いによる子育て支援制度です。「子育てを応援してほしい人」と「子育てを応援したい人」、**両方の目線に立った検討**を行う必要があると思いました。

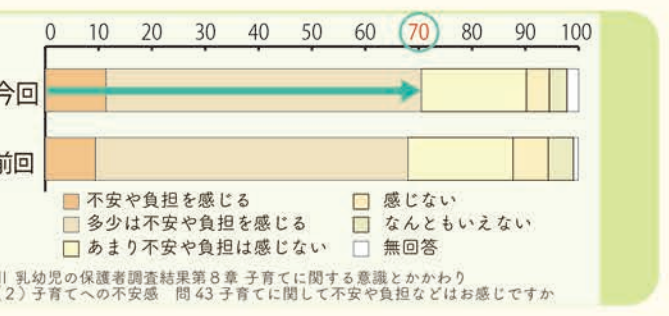
他都市(川崎市、横浜市、熊本市)でもやっているのなら、福岡市でもきっと出来るはず!

Q 子どもは福岡市の未来を創るかけがえのない存在です。子育ては、楽しく、成長を感じられる充実した時間である一方で、24時間休みがありません。社会の変化に伴い、子育て家庭、とりわけ乳幼児を育てる家庭への支援をさらに充実させる必要があります。より楽しく子育てを続けてもらうため、身近で利用しやすい一時預かりやファミリー・サポート・センター事業のさらなる拡充が必要だと考え、最後に局長のご所見をお伺いしました。

【こども未来局】

- 地域全体で子どもと子育て家庭を見守り支える環境をつくるため、一時預け先の確保等身近な地域における子育て支援の充実を図ってきた。今後とも、しっかりと取り組んでいく。

第4回福岡市市議会定例会を終えて...
 平成30年度の福岡市子ども・子育て支援に関するニーズ調査によると、約7割の乳幼児の保護者が子育てに不安や負担を感じていると答えています。保護者の子育てに対する不安や負担の増大から子どもへ及ぼす影響も避けられません。子どもだけでなく、ママもパパも暮らしやすい福岡市づくりを目指したいと思いました。



立憲民主党 連絡先 ついちはら陽子 事務所
 〒812-0061 福岡県福岡市東区宮松2丁目6-9-101
 TEL: 092-624-8777 FAX: 092-624-8778
 E-mail: info@yoko45.jp https://ついちはら.com/

日々の活動 随時報告中!
 ついちはら.com



福岡市民クラブ、過去最大「11名」で新体制スタート!

私たちは、働く者・生活者の目線で議会活動に取り組む会派であり、これまでもその「目線」を基本にした様々な政策を執行部に提言してきました。先の統一地方選挙においても会派所属議員・候補者が会派の政策提案指針である『会派基本政策2023』を掲げて戦った結果、今期は過去最大の11名で新たなスタートを切ることができました。

これからの4年間、皆様にお示した『会派基本政策2023』を軸に据え、

- 一人ひとりの命と幸せを大切に作る社会
- 人と技術の結びつきが新たな価値を生み出す創造都市
- 市民が自ら発言し、議論し、決定する仕組みづくり
- 一人ひとりの生命と尊厳を守り、誰もが安心できる共生社会

という4つの理念を全員で共有し、その実現に向けて一丸となって取り組んでまいります。また、市長の提案に対しては、皆さんの声に耳を傾けながら「是々非々」の態度で臨み、これまで以上に福岡市議会議員としての責任を自覚し、健全な二代表制に向けて職責をしっかりと果たしてまいりたいと考えています。

また、私たち市議会議員は、皆様からの負託を受けて議会で発言する「代弁者」であると同時に、皆さんとともに地域社会を支える「地域の一人」でもあります。どうぞ、それぞれの行政区で活動する福岡市民クラブ所属議員に気軽にお声かけいただき、皆様の声をお聞かせください。

福岡市民クラブ 一同

令和5年度 第4回福岡市議会(6月定例会) 開催

6月16日(金)～27日(火)令和5年度第4回定例会が開催され、物価高騰対策や新型コロナウイルス感染症対策に必要な各種施策に充てる令和5年度一般会計補正予算や、一般議案など全21議案について審議しました。ここでは、主なものについてご紹介します。

「省エネ家電」買い換えキャンペーンを実施! ▶約4億7500万円

- 対象世帯…市内居住の世帯(1世帯1回まで)
- 対象家電…省エネ基準達成率100%以上の、エアコン・テレビ・冷蔵庫・照明 ※市内店舗での購入が条件
- 助成金額…購入金額の1/3(補助上限額3万円) ※合計5万円以上の購入が条件
- 対象期間…6/27以降購入分が対象、8月上旬から申請受付開始



全市版プレミアム付き商品券「ネクスペイ」販売額を倍増! ▶約12億700万円

- 今回の追加補正により、販売総額は100億円分となりました!
- 販売期間…6/30～7/16 第2回申込受付(7/20～商品券発行) 購入単位5,000円、購入上限50,000円まで
- ※今回の追加発行分は、7月下旬～8月上旬申込開始を予定

マンションの管理適正化を進め長寿命化へ!

議案質疑 [6月16日] 井上 まい (城南区)



今回の条例改正で、大規模修繕工事を行ったマンションの固定資産税の減額措置などが創設されました。これは、国の施策に基づいたものですが、国は1/3の減額を基準とするところ、**本市では市が追加負担をし、家屋の固定資産税の1/2を減額します。**本市には築20年以上のマンションが約4,000棟あり、今後、高経年マンションの増加が見込まれています。しかし、**分譲マンションの維持管理については、各戸オーナーの高齢化や、工事費高騰の影響などから既存の修繕積立金が不足するなど、管理組合での合意形成において多くの課題があります。**良質な住環境を守るためにも、この固定資産税の減額だけにとどまらない、市の積極的な支援を求めました。

- 利用期間…既存発行分、追加発行分ともに **利用期間は12/18まで**
- 使用可能店舗数…市内約7,000店舗を予定



福岡市の「未来ビジョン」を提案し続ける!

一般質問 [6月20日] 田中 しんすけ (中央区)



高島市長が先の市長選挙で掲げた6つの政策分野のうち、交通・経済・まちづくりの3項目について、具体的な提案をしながら、市長自身の考えを尋ねました。『福岡市のまちづくり』に関する私自身の将来ビジョンと必要な取組みとして、「都心部への車の乗り入れをなくす」「内需依存型から域外・海外への販路開拓・拡大型へと経済政策をシフトさせていく」「洗練された街並みを実現するため都市計画を抜本的に改める」などを示したうえで、「これら提案についてどう思うか?」と問うと同時に、「**そもそも市長はどんな未来ビジョンを持っているのか?**」と尋ねましたが、残念ながら、**明確なビジョンとリーダーシップを感じさせる答弁は皆無**でした。

教員不足解消へ「働き方改革」の推進を

一般質問 [6月21日] 落石 俊則 (東区)



教員の長時間勤務が常態化しています。国の指針では時間外在校等時間(残業)上限を月45時間と定めていますが、2022年度の福岡市立小・中学校の月45時間超の教員の割合はそれぞれ31%超、42%超に上り、2年前調査に比べ減ったとはいえ、家への持ち帰り仕事も増えています。常態化している長時間勤務は、若者の教職離れを招き、教員採用試験倍率が低下しています。教員不足を解消するためには、**実効性ある学校の「働き方改革」の一層の推進が不可欠です。教育長に対し、「働き方改革推進プログラム(2022年4月)」に則り、教員の業務負担軽減並びに部活動指導員・学校生活支援員等の専門スタッフの配置増や教員定数の充実**を強く求めました。

福岡市民クラブ 委員会構成

議会において提案される各種議案は、議員全員で構成される会議(本会議)で最終的に決定します。その前段、少数で専門的に審査する場として委員会が設置されています。福岡市議会では5つの常任委員会を設置しており、議員はいずれか1つの常任委員会に所属することとなっています。これに加えて特別委員会や協議会など、市政の様々な課題を審議・議論をする場があり、政策決定に大きな影響を与えています。今号ではそれぞれの委員会と所属議員をご紹介します。

	名称	担当議員 (◎委員長、○副委員長)	主な内容
常任委員会	総務財政委員会	田中たかし、○ついちらは陽子、前野真実子	総合計画、国際交流、財政、コミュニティ、スポーツ、防災、人権、男女共同参画など
	教育子ども委員会	◎池田良子、井上まい	子ども育成、保育、障がい児福祉、ひとり親家庭支援、教育など
	経済振興委員会	落石俊則、小竹りか	商工業、観光振興、文化、農林水産業、港の整備・再開発、空港周辺整備など
	福祉都市委員会	近藤里美、勝見美代	社会福祉、保健衛生、住宅、建築、都市計画、交通対策、公園など
	生活環境委員会	田中しんすけ、山田ゆみこ	環境、ごみリサイクル、道路、上下水道、河川、消防、地下鉄など
特別委員会	交通対策特別委員会	田中しんすけ、近藤里美、○田中たかし	高速3号線沿線のまちづくり/福岡都市圏における公共交通/都心部(副都心及びウォーターフロント地区を含む)における道路交通の円滑化
	都市問題等調査特別委員会	落石俊則、山田ゆみこ、○井上まい、勝見美代	福岡空港に関する調査/外郭団体に関する調査/広域行政に関する調査/住民自治、地域コミュニティに関する調査/地方分権改革の推進に関する調査/防災に関する調査/再生可能エネルギーに関する調査
	少子・高齢化対策特別委員会	池田良子、○ついちらは陽子、小竹りか、前野真実子	高齢化対策に関する調査/少子化対策に関する調査

子育て世代にさらに寄り添う支援策を求めて

一般質問 [6月21日] ついちらは 陽子 (東区)



都市化や核家族化が進行し、未就園児の子育てに不安や負担を感じる保護者が増えていることから、一時的な預かり先について質問しました。本市には一時預かり事業、一時保育事業、ファミリー・サポート・センター事業がありますが、一時預かり事業では利用者数を上回る体制は確保しているものの、年末や年度末には利用者が集中し受け入れられない場合があることが判明しました。その他の事業では利用者統計はとられていないため、**地域で子育てが家庭の需要にばらつきがあることも踏まえ、校区ごとの的確な現状把握が必要**と訴えました。また、ファミリー・サポート・センター事業を**自宅だけでなく公民館などの公共施設でも預かれるよう要望**しました。

子育て支援策、私の積極姿勢を厳しく指摘

一般質問 [6月22日] 田中 たかし (西区)



放課後児童クラブの長期休み中の昼食提供とおたふくかぜワクチンへの助成を求めて質問。本市は長期休み中は弁当持参ですが、**他都市では保護者の負担軽減のために民間業者や給食センターの協力を得て昼食提供**しています。課題はあるものの他都市の事例を示し解決可能であると訴え、本市でも実施するよう求めました。おたふくは合併症で難聴を発症する可能性のある病ですが、ワクチンは任意接種かつ接種料も高額なため接種率は低いのが現状です。医学的根拠も示した上でワクチンの安全性を確認し、市も安全性は認めているため、**難聴に苦しむ子を増やさぬよう公費助成を求めました。**いずれも市は消極的でしたが、引き続き粘り強く要望していきます。